

新ふるさと創造宣言

「都市との交流」と「定住」が和歌山を活性化する

新年あけましておめでとうございます。

県民の皆さんには、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ちょうど二年前、私はこの「県民の友」で和歌山県を、地域の特性を生かして起業を志す人や自然と向き合う産業の担い手が集まってくるような県にしたいと申し上げました。

この一年、それを実現するため、主要施策に「新ふるさと創り」を掲げ、都会の人たちに和歌山を「心のふるさと」として感じてもらい、都市と地方がお互いに協力・協働できるよう「緑の雇用事業」をはじめ様々な事業を進めてきました。

和歌山県には、奥深い自然はもちろん、これまで培われてきた歴史・文化、さらには開放的で温かな人情など、地域資源ともいえるすばらしい風土があります。

私が提唱する「新ふるさと創り」は、こうした本県の特性を生かして、都市と地方の人と人、多様な特色を持つ地域と地域が交流を深め、更に和歌山への定住を進めることにより、農林水産業や観光など既存産業の振興のみならず、新たな産業を創出し、過疎化、高齢化が進む地域を活性化しようというものです。

この「新ふるさと創り」をさらに進め、今、和歌山に暮らしている人はもちろん、新たに移り住んできた人も、和歌山こそ自分のふるさと“だ”と思える、そんな魅力ある和歌山県を築いていきますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

和歌山県知事 木村良樹



年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。
県民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日本と韓国においてサッカーワールドカップが開催されましたが、本県でキャンプを張ったデンマークチームが活躍したことで大いに盛り上がりとともに両国間の交流にも結びついた年でありました。

また、非常に厳しい社会経済情勢の中ではありますが、緑の雇用事業の推進など、本県の特徴を生かした事業への取り組みや、県勢浮揚のために欠かすことのできない交通基盤整備として、第二阪和国道、近畿自動車道紀勢線等の事業も着実に進展しているところがあります。

県議会におきましても、こうした施策の推進を図り、新しい個性と魅力にあふれた、将来に夢を持てる和歌山県を築くため最善を尽くす決意でございます。

年頭に当たり、県民の皆様のご多幸をお祈りいたしますとともに、県議会に対する一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。
新年のご挨拶といたします。

和歌山県議会議長 宇治田 栄蔵



歯周病は知らないうちに進行しています

歯周病は、歯垢の中に住みついた細菌が歯と歯ぐきの間から侵入し、歯の土台である歯ぐきや骨に炎症を起こす病気です。初期では痛みなどの激しい自覚症状がないため放置して、悪化するケースが数多く見られます。

歯周病のすすみ方と自己チェック

軽度	中等度	重度
①健康な歯ぐき ・唇の裏より色が薄い若々しいピンク色。 ・くぼみや膨らみがはっきりしている。	②歯肉炎になる ・歯ぐきが赤くなって、はれたようになる。 ・歯みがきやかたいものを食べたときに出血することもある。 ・歯の根元に歯石（歯垢が石灰化して固まったもの）の沈着が始まる。	③歯肉炎が進んで歯周炎になる ・歯を支えている歯ぐきが歯から離れて歯槽骨が溶け、歯周ポケットが形成される。さらに炎症が進むと歯ぐきがぐらつく感じがする。 ・人によっては口臭や口内が粘っこくなり、不快感を覚える。 ・歯の根の深い部分にまで歯石沈着が進む。
		④歯周炎がさらに進行する ・歯ぐきと歯の根元の境目を押すとウミが出る。 ・歯ぐきがぐらつき、かみしめると痛みがあり、冷水や熱い湯が歯にしみる。 ・歯ぐきが下がって歯の根元部分が出てくるため、歯が長くなったように見える。

歯周病予防は生活習慣の見直しから

基本は、正しい歯みがき習慣

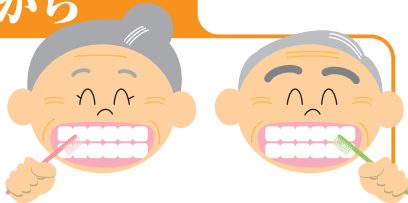
歯垢を取り除くようにきちんとブラッシングをする習慣が身についていれば、歯周病にかかる率はぐっと減ります。

●「毛先みがき」を実践しよう

歯ブラシはヘッド部が小さく、柄が細く長いものを使って、毛先を歯に直角に当てて軽く振動させるようにしてみがきます。



①毛先全面を使う ②ワキを使い歯の曲面を合わせ ③内側はツマ先やカトを使う



●歯みがきグッズを使いこなそう

歯ブラシが入りにくい歯と歯の間の歯垢は、糸状のデンタルフロスや歯間ブラシ等を使って取り除きます。



定期的な歯周病検診と早期治療を

かかりつけの歯科医等で、年に1度はお口の中をチェックしてもらいましょう。

各市町村には、40歳・50歳の節目の歳に無料で検診を受けることができる制度があります。

禁煙は効果大

喫煙により、歯周病にかかる確率が大幅に高くなることが明らかにされています。



歯を残そう 80歳で20本の歯を残そう 歯周病を予防して

健康は丈夫な歯から

食べる、話す、表情をつくる、重いものを持ち上げるなど、普段の生活のいろいろな面で大切な役割を果たしている歯。しかし、日本人は平均すると、50歳代から徐々に抜けていって、60歳代では6割強の人が入れ歯を使用、80歳の時点では自分の歯はなんと7〜8本しか残っていないのが現状です。成人が歯を失う原因で一番多いのが歯周病(50%)、その次がむし歯(37%)です。むし歯は減少傾向にありますが、歯周病は増加傾向にあり、成人の5人に4人は歯周病にかかっているといわれています。

歯周病は放っておくと恐ろしい病気につながります

和歌山県立医科大学 歯科口腔外科 藤田茂之教授

多くの歯を失うこと自体、食べ物を十分かめなくなると健康に悪影響があるわけですが、近年、歯周病の原因である細菌が元でできる悪玉の物質が血液の流れによって全身に運ばれ、たまたま働きが弱っている臓器を刺激して病気を引き起こすことがわかってきました。たとえば肝臓が弱っている方の場合には肝機能がさらに悪くなる場合が報告されていますし、心臓の弱い方では血液の循環がうまくいかなくなる感染性心内膜炎という病気を起こすことが明らかになっています。健康な歯と歯肉を保つこと、すなわち歯科疾患予防を心がけることが、こうした病気を防ぐことにもつながるんですね。



空飛ぶ救命室 ドクターヘリ導入



県では、県内医療の地域格差をなくし、万全の救急医療体制を整備するため、導入の検討を進めていた救急専用ヘリコプター（ドクターヘリ）を、全国の国・公立病院としては初めて、県立医科大学附属病院に導入することにしました。

運航指令センターを設置

地元の消防機関などが、救急現場においてドクターヘリの出動が必要と判断した場合、県立医科大学附属病院救命救急センターに設けられたドクターヘリ運航指令センターに出動を要請することができます。

また、県内各地の医療機関が、患者を県立医科大学附属病院など高度医療機関に緊急搬送する必要があると判断した場合も出動を要請することができます。

紀伊半島の救急医療にも貢献

ドクターヘリは、県立医科大学附属病院屋上に設置されたヘリポートに常駐し、県内全域への出動はもちろん、三重県・奈良県と結んだ協定により、半径100キロメートル圏内の両県南部地域にも出動することになっています。

この紀伊半島三県にまたがる広域運航は、全国初の取り組みとして注目されています。

身近な場所にも着陸

ドクターヘリは、臨時ヘリポートとして公園や河川敷など身近な場所にも着陸します。安全を最優先に運航しますが、離着陸時、砂ぼこりや騒音等が発生しますので皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ドクターヘリって？

通常、事故や急病または災害発生時など、通報を受けてから救急車が現場等に向かいますが、救急隊員は医療行為である治療ができないので、治療できる病院を探してそこに搬送することになります。

患者の命を救うため、また後遺症が残らないようにするためには、1分1秒でも早い治療が必要なのですが、山間部など地理的条件などにより時間がかかる場合があります。

そこで登場するのが、ドクターヘリです。

ドクターヘリの最大の使命は患者の搬送ではなく、治療開始までの時間短縮による救命率の向上です。ドクターヘリには、救命のエキスパートである県立医科大学附属病院の医師と看護師が搭乗するほか、初期治療に必要な最先端の医療機器が搭載されていて、現場等に急行してすぐ患者の治療を始めることができます。さらに必要な場合は救急医療機関へ患者を治療しながら搬送することができます。

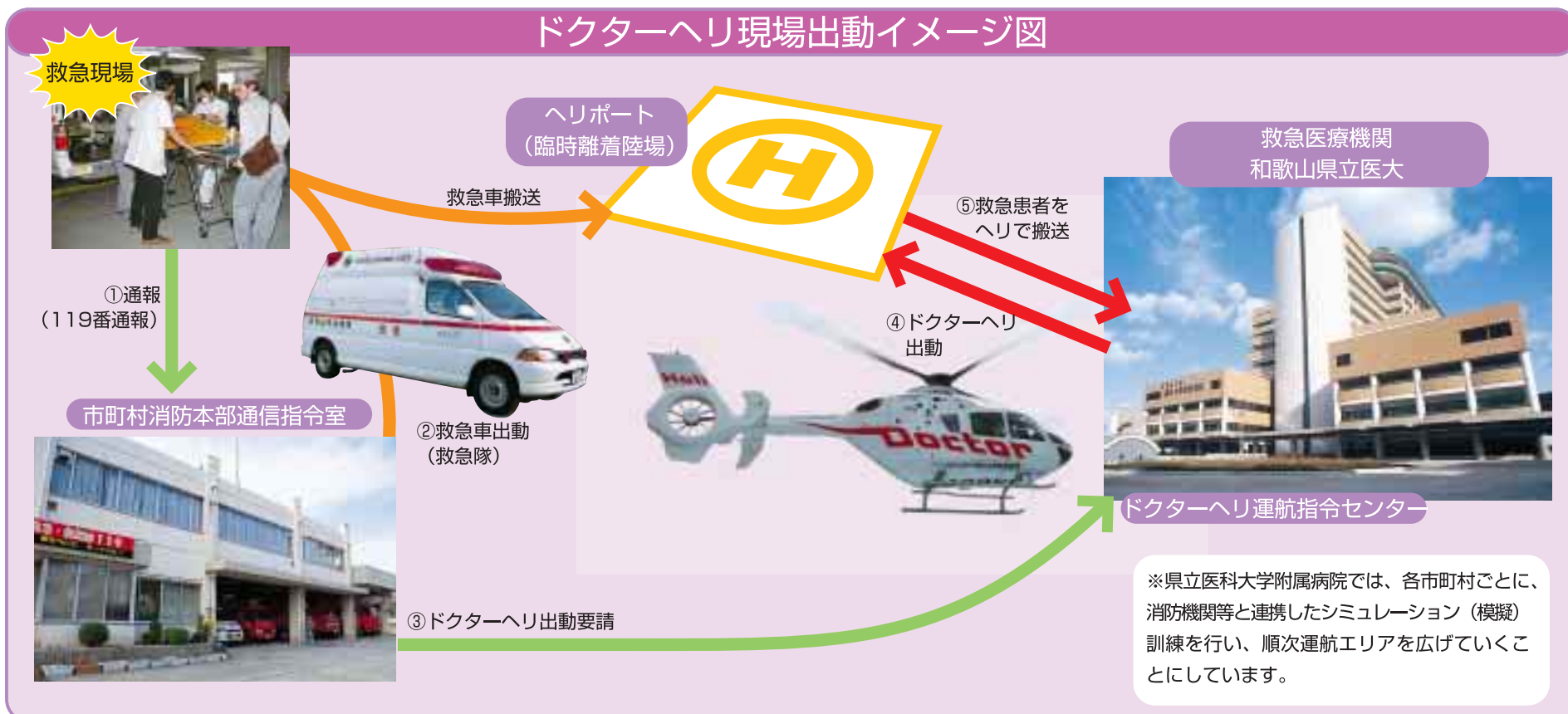


機内装備機器類

心電図・監視モニター、搬送用人工呼吸器、シリンジポンプ、除細動機、酸素ボンベ、吸引用サクションポンプ、搬送用担架など



ドクターヘリ現場出動イメージ図



問い合わせ 県立医科大学 病院課 ☎073(441)0516

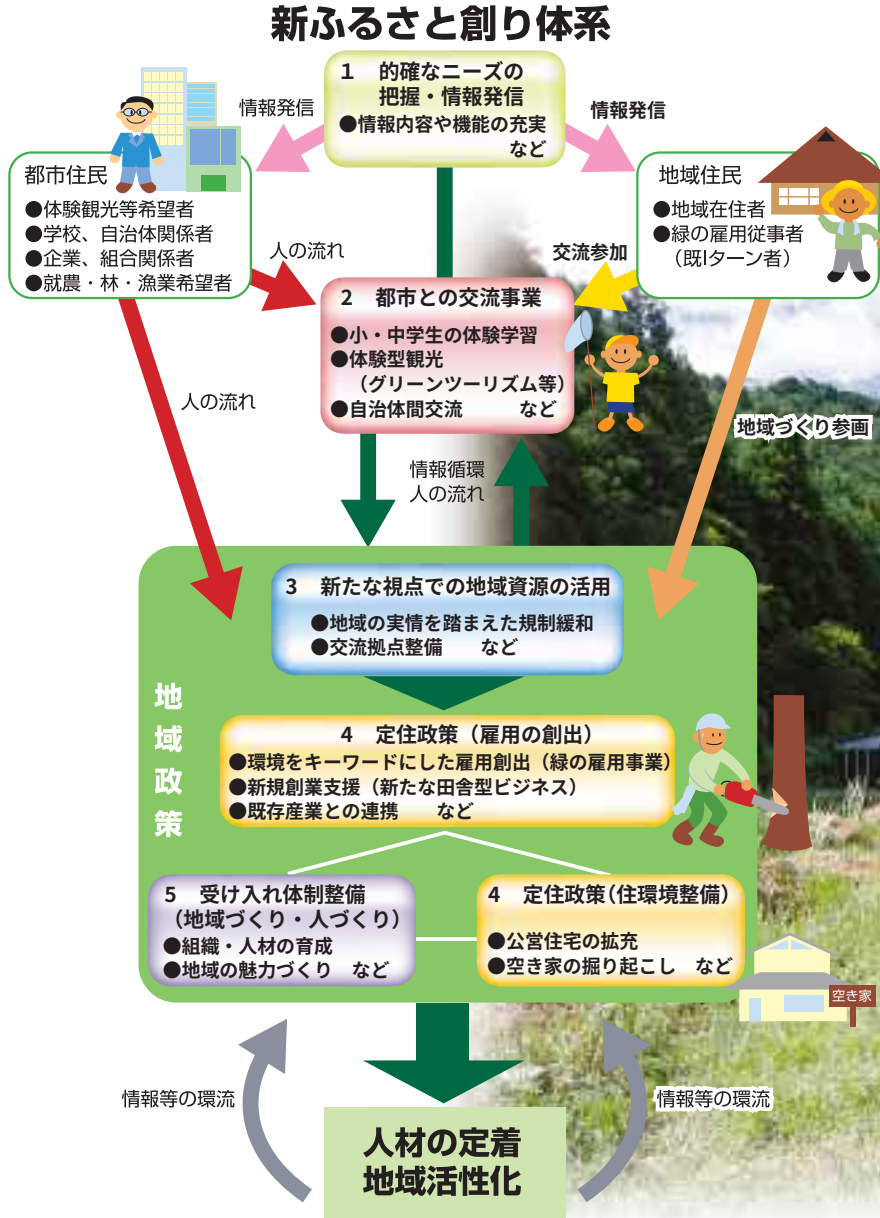
新ふるさと創造宣言

「都市との交流」と「定住」が和歌山を活性化する

都市から地方への人口流動を図ることにより、過疎化や高齢化の進む地域を活性化し、より大きな圏域として調和のとれた発展をめざす「新ふるさと創り」。県では、地域の特性を生かした都市との交流や県外からのU・イターンの促進・定着などを進めるため様々な施策を展開しています。

既に体験型観光への取り組みや自治体間・学校間での活発な交流が行われているほか、「昨年から実施している「緑の雇用事業」では、緊急地域雇用創出特別基金事業等を活用して、県内約300人の方々ははじめ、県外からも100人を超える方々が県内各地で森林作業に従事されています。

今後も、更に広がりをもった「交流」と「定住」施策を実施していくことにしています。



的確なニーズの把握と効果的な情報発信

・インフォメーション機能の一層の充実
地域の魅力や資源の掘り起こし、地域住民と都市住民双方への情報提供
・企業や労働組合等との連携
環境保全に貢献する企業や労働組合等と県や県内市町村との連携を促進するための情報提供

ユニチカ労働組合が和歌山で森づくり

昨年5月、大阪市内で関西の経済界等を対象に行った「緑の雇用事業説明会」がきっかけで、ユニチカ労働組合が組合設立30周年記念事業として、中津村で「緑のプラン」と名付けた環境保全を目的にした森林づくりを行うことに

都市との交流事業

・自治体間交流や学校間交流の一層の推進
都市部の自治体と県内市町村との姉妹提携や関連事業の促進
・体験型観光やグリーンツーリズムへの対応
農林漁業体験や産業体験等の新たな交流メニューの創出

都市と山村 お互いにいいものを補完し合う

山々も色づく11月中旬、秋晴れの中、大阪府泉大津市の東陽中学校一年生275人が、校外学習のため大型バス6台を連ねて中津村にやってきました。

※中津村と泉大津市は、昨年4月に姉妹提携をしています。

開会式では、笹村長が「村の生活の一端を知ってもらい、強い絆ができれば」と歓迎のあいさつ。生徒代表からは、「日頃体験できないことができそうで、楽しみにしていました」、校長先生も、地元のみなさんの歓迎ぶりに、「こんなに歓迎してもらえたのは、全国どこを探してもうちの学校ぐらい」とあいさつ。開会式のあと、かずら工芸やわら草履づくり、草もちづくり、こんにやくづくりなど体験メニューごとに10班に分かれ、各会場へ。

指導する自分たちまで楽しくなっています

この体験メニューの企画・運営は、イターン者を含む地元有志25名で結成する中津村都市農村交流推進協議会、通称「ゆめ倶楽部21」が担当。事前の打ち合わせから当日のインストラクターまで全てをきりもりします。

インストラクターを務めるメンバーのひとり、**「こうした交流が増えれば村にも活気が出て、非常に喜ばしい。企画をしている自分達までめちゃくちゃ楽しくなっています」と満面の笑顔で答えてくれました。**



進む都市との交流

県内の市町村では、都市圏の市町村と提携し、学校間交流やスポーツ交流、山村体験交流など様々な交流を行っています。*(内は提携先)

かつらぎ町(和泉市)、花園村(守口市)、清水町(高石市)、美山村(大阪狭山市)、龍神村(泉南市)、中辺路町(千早赤阪村)、すさみ町(寝屋川市)、本宮町(堺市)

あんな楽しそうな顔を見たことがない

引率の先生は、「日頃できないことをやらせてあげたかった。村の方からあれもこれもと素晴らしい情報をたくさん提供していただきました。こんなに良くしていただいていたのかああとむしろ恐縮しています。あんな楽しそうな生徒たちの顔を授業で見たことがないです」

各会場では、生徒達の楽しそうな声が途切れず、先生も生徒に負けじと、というよりは一番熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。先生も生徒も童心に返った秋の一日でした。

なりました。

組合では、中津村の民有林2箇所(約2ヘクタール)を借り受け、今年から組合員自ら、広葉樹や針葉樹を植栽し、下草刈りから間伐まで行う予定にしています。

また、この事業を進めるため、「きのくに中津村」との宿泊提携や地域住民主体の交流事業参加など、広がりのある成果に村の関係者の顔も自然とほころびます。



組合関係者が予定地を視察

緑の雇用事業等を活用した総合的な定住政策

- ・緑の雇用事業を進展させるための農業や漁業、地域産業との連携
- ・ＵＩターンを支援する人材育成など定住支援体制の整備

＊これが自分の求めていた生活だと実感＊

大阪市出身で、介護の仕事をしていた黒住信康さん(31)は、常々田舎暮らしに憧れ、自分の子どもには自然に触れて大きく育って欲しい、また自分の仕事を子どもに見せてやりたいとの思いで林業への就業を決断。昨年6月に和歌山市で行われた就業相談会に参加し、南紀森林組合の条件がピッタリ合致し、善は急げと、その月末には古座川町に引っ越し、7月から森林整備作業に従事しています。

「仕事は体力的にはしんどいですが、何といっても気分がいい。生活の張り仕事と仕事の張りを自分でも驚くほど感じています。これが自分の求めていた生活なんだと実感しています」と今の生活がとても充実している様子。

昨年10月には、奥さんのかよ子さんと結婚し、町営住宅で新婚生活2ヶ月目。



～なにより、楽しそうなのが一番～

奥さんのかよ子さんは、「正直言って、最初は不安でしたが、なにより主人が楽しそうなのが一番です」と言いつつも、「何もかもが目新しく楽しいです」と田舎暮らしがお気に入りの様子。そのそばで、「近所のみなさんからも、親しくしていただいて、最近では、お昼ごはんによべたりして、今では彼女の方が楽しんでますよ」と、ちよつとつらやましそうな信康さん。

これからは、「林業体験などで、都会の人にもっと林業を知ってもらえるようにしていきたい」という信康さんと「ここしかできないことをもっと体験して、大阪の友人達にも教えてあげたい」というかよ子さん、二人三脚での田舎暮らしの始まりです。



「ここに来てみて、自分の余暇ができたことが一番うれしいですね。嫁さん孝行も欠かせませんけど」「友人からもここでの生活について尋ねられたりするので、是非勧めたいと思っています」と、作業の合間、さわやかな笑顔で答えてくれました。

＊紀州の伝統技術を身につける＊

中津村では、一昨年、紀州備長炭製炭技術の伝承と製炭就業者の技術習得を図り、製炭体験もできる製炭研修所を開設しました。この研修所開設を契機に、村に「ターンした方々を訪ねました」。

～きっかけはトライアスロン？～

一級建築士の資格を持ち、建築設計事務所を経営していた大阪市出身の泉正敏さん(56・写真左)は、最初から製炭士になろうと思っていたわけではありません。ご夫婦の趣味がトライアスロンということで、その練習場所として、村に何度か来ているうちに、地元の人たちとも親しくなり、研修所の開設を契機に移住を決断。

一昨年7月に入村し、今では自分の窯で奥さんと共に炭を焼き、インテリアや生活用品専門に、独自のルートで全国販売を展開しています。

「先日、村の祭にはまってしまいました。村民が主役っていう感じの祭で、都会ではとても味わえませんが、村に来て1年半、早くも自宅を新築され、今では村民になりきっている泉さんです。」

～期待を膨らませて～
プラスチック調色の仕事をしてい



た枚方市出身の出口和宏さん(40・写真中央)とコンビニタ関係の仕事をしてきた赤穂市出身の有吉高博さん(28・写真右)も製炭研修所のことを知って、村にやってきました。

出口さんは、単身赴任で約1年、ほとんど休まず無我夢中で取り組み、昨年に自分の窯を持つことができました。大阪にいる奥さんも、時々手伝いに来てくれているそう、夫婦での田舎暮らしもそう遠くなさそうです。

有吉さんは、昨年4月に来て8ヶ月。「仕事もプライベートも楽しいです。木の切り方から窯づくりまで成くり全般についてもっと知識を身につけたいです」とやる気満々。3月までには自分の窯が持てるそうです。

これからの中津村での生活に期待を膨らませるお二人です。

＊気軽に山村体験＊

古座川町にある県ふるさと定住センターでは、県内の山村地域への定住促進を目的に、山村体験研修を行っています。

1日研修をはじめ、2泊3日、4泊5日の研修コースがあり、山村での生活や就労に必要な知識を習得するほか、農林業体験や産地見学などが行われます。

山村への定住を希望する方なら、誰でも研修を受けられますので、お気軽にお申し込みください。研修費用は無料(交通費、宿泊費、食費等は自己負担)。



ゆずの収穫指導の様

＊山村地域での創業を応援(ターン創業支援補助金)＊

県では、過疎・山村地域に「ターン」される方を対象に、地域資源を生かした事業の創業に必要な資金の一部を補助しています。

補助対象経費…創業に必要な機械設備又は工具器具等の購入・修繕に要する経費

補助率…1事業につき、補助対象経費の1/2以内(事業の参考例)

- ・観光資源や歴史・文化資源を活用した創業
- ・農業体験を含めた農家民宿の経営、ＩＴを活用した観光資源ＰＲ事業など
- ・地域特産品を活用した創業
- ・特産の農産物等を利用した加工品の開発・販売やレストラン経営など

新たな視点での地域資源の活用

- ・地域の実情を踏まえた農地利用等様々な規制緩和
- ・都市住民や定住者が利用できる農地取得や新規事業への参入にあたっての規制緩和策の検討
- ・新ふるさと創りに資する各種地域資源活用策
- ・交流拠点の整備や地域食文化の見直し、広葉樹林の整備
- ・等と歌山が持つ地域資源の活用

＊木の国・木の薫る店＊

紀州材の需要拡大を図り、地産地消と併せて地域の雇用にも結びつけるため、紀州材をふんだんに使用した3タイプのキットハウスを名付けて「木の国・木の薫る店」を県内7箇所に設置することになりました。

野上町や新宮市など設置を予定する地域では、地元の皆さんが、特産品などを販売するための準備を進めています。

＊設置予定地域…野上町、那賀町、かつらぎ町、吉備町、田辺市、古座川町、新宮市



33㎡タイプの模型

地域づくり・人材づくり

- ・新ふるさと創りに取り組む団体等の育成
- ・地域づくり団体等の育成・参画への支援
- ・生活に潤いと豊かさをもたらす地域づくりの推進
- ・地域住民の教育・文化・福祉・医療活動等への新たな取り組みへの支援による魅力的な地域づくりの促進

新ふるさと推進委員会

県では、この新ふるさと創りの推進のため、有識者をはじめ県内の実践者からアドバイザーや協力をいただく新ふるさと推進委員会を設置しています。

委員会では、県内数地域をモデル推進地区として選定し、この新ふるさと創りを効果的に進めることにしています。



問い合わせ
県庁新ふるさと推進課 ☎073(441)2930

時…期日・時間
対…対象・資格
問…問い合わせ

場…場所・会場
費…費用
抽…希望者多数の場合抽選

定…定員
申…申込・応募方法

和歌山県のホームページは <http://www.wakayama.go.jp/>
県庁・県教育委員会への郵便は 〒640-8585 (県庁専用郵便番号、住所記入不要) ○○○課であ
電話は ☎073(432)4111

おしらせ

募集

男女共同参画推進イベント
りいぶるフェスタinひだか

元小結・智乃花伸哉
さんの講演「自分らしく生きる」のほか、
龍神太鼓や写真コ
ンテスト、ハーブ
講習会等



時 2月16日(日) 12:30～15:30

場 御坊市民文化会館

申 講演会は整理券が必要

配布先：会場及び御坊市役所、
日高郡各町村役場、日高振興局等
＊一時保育希望の方は2月6日ま
でに問い合わせ先へ

問 日高振興局県民行政部総務課
☎0738(24)2904 FAX0738(24)
2906 Eメール e1305111@offi
ce.wakayama.go.jp 県男女共生
社会推進センター☎073(435)5245

市町村合併をともに考える
セミナー

和歌山大学 小田章学長の講演等

時 2月8日(土) 13:30～

場 橋本市教育文化会館

申 ハガキ、FAX、Eメールに住
所、氏名、年齢、職業、電話

番号、(意見)を記入し、1月31
日までに県庁合併推進室
FAX073(423)2427 Eメール
sichoson-gapei@office.wakaya
ma.go.jp

問 県庁市町村課合併推進室

犬のしつけ方教室

時 ①講義1月20日(月) 14:00～

実技2月 3日(月) 午後

②講義2月 7日(金) 14:00～

実技2月14日(金) 午後

※実技のみの受講は不可

場 県動物愛護センター(野上町)

定 各回20組(先着順)

申・問 電話で、①は1月9～20日、

②は1月30日～2月7日に会場

☎073(489)6500

国際交流運動会

時 2月11日(祝) 10:30～15:00

場 県立体育館(和歌山市)

対 中・高校生と県内在住外国人

申 ハガキ、FAX、Eメールに希望

者全員の住所、氏名、年齢、電

話番号を記入し、1月25日までに

(財)県国際交流協会〒640-8319

和歌山市手平2-1-2和歌山ビッ

グ愛8階 FAX073(435)5243

Eメール izunaka@wixas.or.jp

問 申込先☎073(435)5240

みんなで子育て ふれあいの場
活動報告交流会

先進地(山形県)の事例発表や県
内中高生の活動報告等

時 2月2日(日) 12:30～15:30

場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)

申・問 1月24日までに県庁子育て
推進課

感動わかやま21
地域活動団体交流会

基調講演、分科会等

時 2月8日(土) 13:00～

場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)

対 県内で環境保全や各種ボラン
ティア、地域おこし等の活動に
取り組んでいる方 100人

申 ハガキに住所、氏名、団体名、
電話番号、同伴者全員の氏名を
記入し、1月15日までに県庁県
民生活課内「感動わかやま」係

問 県庁県民生活課

県子ども・障害者相談センター
(肢体不自由者更生施設)入所・
通所者

対 市町村から身体障害者施設訓
練等に係る施設受給者証の交付
を受けている15歳以上の肢体不
自由の方で、日常生活が一人で
でき、以下の訓練を希望する方

科目 ワープロ・パソコン科(初級
～検定3級程度)、自動車運転科
定 入所30人、通所14人
申・問 センター☎073(445)7314

障害者初級スポーツ指導員
養成講習会

時 2月22日(土)・23日(日)、

3月1日(土)・2日(日)

場 県子ども・障害者相談センター
(和歌山市)

対 県内在住の18歳以上の方 30人

申 受講申込書により2月5日ま
でに県身体障害者スポーツ協会

問 申込先☎073(445)7314

FAX073(446)0036

小型船舶けい留施設(4月1日
使用開始) 収容船舶

場 和歌山市築港1丁目

申 2月1～14日に和歌山下津

港湾事務所☎073(431)7266

又は和歌山マリーナシティ(株)

☎073(448)0250

問 申込先

農林水産省 食料品消費モニター

対 和歌山市及びその周辺市在住
の方(他の官公庁モニター予定
者を除く) 20人(選考)

任期 平成16年3月31日まで

申 ハガキに住所、氏名、年齢、
電話番号、家族構成(続柄・職
業・年齢)を記入し、2月7日
までに近畿農政局消費生活課
〒602-8054京都市上京区西洞
院通下長者町下ル丁子風呂町

問 申込先☎075(451)9161

公正取引委員会 消費者モニター

対 県内在住の20歳以上の方

10人(選考)

任期 平成16年3月31日まで

申 ハガキに住所、氏名、年齢、
性別、電話番号、職業、各種モ
ニター経験の有無、家族構成
(続柄・職業・年齢)、最寄りの鉄
道駅と自宅からの所要時間、応
募理由(100字程度以上)を記入
し、2月7日までに公正取引委員
会近畿中国四国事務所〒540-
0008大阪合同庁舎第4号館(住
所記載不要)

問 申込先☎06(6941)2175



同和問題は私たち自身の問題です

“同和問題は、もうないんじゃないの”・・・いえ、現実には、同和地区やその出身者
に対する差別が根強く残っています。

最近も、蔑称語をつかった差別発言、差別落書き、差別的な内容の投書やインターネット
上への差別的な書き込みなど様々な形での差別事件が発生しています。どのような形
であろうとも差別を受けた人の心の傷は深く、差別された人たちの思いを考えたとき、
このような差別は決して許されるものではありません。

平成14年3月をもって同和对策事業の特別法であった「地域改善対策特定事業に係る
国の財政上の特別措置に関する法律」は失効しました。このことをもって同和問題は終
ったという意見もありますが、これは誤りです。こうした差別事件が起こっていること
からもわかるように、同和問題は今だに解決されていないのです。

同和問題は、封建時代の身分制度によってつくり出された差別が、現在においてもな
お残されている日本固有のものであり、このような差別は私たちみんなの力で一日も早
くなくさなければなりません。もちろん県は、同和問題解決のため、そして、すべての
人が人権を尊重される社会づくりのために、今後もさらに積極的に取り組んでいきます。

“でも私には関係ないじゃ…”・・・同和問題は、すべての人に保障されるべき基本
的人権に関わる問題です。私たちの誰もが、等しく保障された人権を有しており、それ
を互いに尊重しあう中で生活している以上、私たちみんなが人権問題の当事者なのです。

“じゃ、私はどうしたらいいの”・・・同和問題に対する正しい認識とどんな差別も許
さないという私たちの決意が、この同和問題、さらにはあらゆる人権問題解決への大き
な礎となります。

今、もう一度、同和問題をはじめとする私たちの身の回りにある差別や差別を助長す
る因習などについて考え、家庭や職場、地域で話し合ってみることから始めましょう。

そして、「同和問題を解決し、すべての人の人権が尊重される社会を創っていくた
めに、私には何ができるだろう」ということを考え、それを行動にうつしてください。
そんな私たち一人ひとりの行動が、差別のない明るい社会を創っていくのです。

問 県庁人権室 ☎073(441)2560

2月7日は「北方領土の日」
第22回 北方領土返還要求
和歌山県民大会

時 2月7日(金)13:00～15:30

場 貴志川町生涯学習センター

内容 ピアニスト中川知保さんミニコンサート、千島歯舞

諸島居住者連盟 鈴木寛和さん講演、北海道物産販売等

問 県庁広報室

県民文化会館改修工事のお知らせ

公共下水道工事及びスプリンクラー設
備等改修工事のため、下記のとおり施
設の利用ができません

※ご予約・受付業務等は行います

■大ホール・小ホール・ギャラリー

1月14日～3月11日

■会議室

1月14日～2月4日及び3月1～11日

問 同館☎073(436)1331

お役立てください
ホームページ「紀州っ子21・こそだてインフォメーション」

子育て支援施設や相談機関の紹介をはじめ、妊娠・出産・赤ちゃんの健康など
目的別子育て情報やお出かけスポット検索、さらに情報交換の場としての
掲示板などなど、子育てに役立つ情報満載です

<http://wave.wakayama.go.jp/kosodate/>

問 県庁子育て推進課

インターネット
で 耐 震 診 断

●簡単な操作で、わが家の耐震診断ができます

●耐震改修の概算工事費がわかります

<http://wave.wakayama.go.jp/taishin/>

問 県庁都市政策課

愛の献血にご協力を！ はたちの献血キャンペーン実施中！

例年1～2月は献血が少なくなります。

みなさんの愛の献血をお待ちしています。

和歌山駅前献血ルーム ☎073(427)2770

受付 成分献血 10:00～12:00、14:00～17:00

全血献血 10:00～13:00、14:00～17:45

※ただし、1月1・2日はお休み

※移動採血バスによる献血場所は、県ホームページでもご案内

問 県庁薬務課、赤十字血液センター☎073(455)6613



1月	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金
2月	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金			



融資など

創造技術研究開発費補助金

対象経費 県内の中小企業等が自ら行う試作品作製等に係る研究開発費

補助率 対象経費の3分の2以内

補助限度額 500万円以内

申 所定の申請書等を2月14日までに県庁新産業室へ持参又は郵送

問 県庁新産業室



ごあんない

農業共済事業

米や果樹、家畜、園芸施設、農機具を対象に、風水害、寒害等の自然災害や火災、病虫害等による損失を補償

問 和歌山北部農業共済組合 ☎0736(73)6724、和歌山中部農業共済組合 ☎0737(63)5121、和歌山南部農業共済組合 ☎0739(22)0704、県庁農業振興課

児童手当の手続きをお忘れなく

児童手当は、義務教育就学前の児童を養育している方に支給されます。※所得制限あり

問 各市町村役場、県庁子育て推進課

休日骨髄バンクドナー登録会

時 1月19日(日) 10:00～

場 御坊保健所(御坊市)

対 20～50歳の健康な方

申・問 1月17日までに御坊保健所総務課 ☎0738(22)3481

福祉の就職フェアわかやま

福祉関係事業所との面談、資格取得等相談、求職者登録

時・場 ①ホテルグランヴィア和歌山(和歌山市)

1月25日(土) 13:00～16:00

②田辺市民総合センター(田辺市)

2月1日(土) 13:30～15:30

問 ①県社会福祉協議会

☎073(435)5211

②田辺市社会福祉協議会

☎0739(26)4918

宝くじ文化公演「関西フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会」

時・場 ①野上町中央公民館

2月1日(土) 15:00開演

②貴志川町生涯学習センター

3月8日(土) 15:00開演

費 一般2,000円(当日2,500円)

高校生以下1,200円(当日1,500円)

※前売券発売中

問 ①会場 ☎073(489)5915

②会場 ☎0736(64)2273

県庁文化国際課



試験

県育休任期付職員採用

育児休業取得中職員の代替職員を募集。任用期間は職員の育児休業期間(おおむね1年以上3年未満)が限度となります

時 2月1日(土)

場 県立医科大学看護短期大学部(和歌山市)

試験区分・採用予定人数

①一般事務(和歌山) 13人程度

②一般事務(紀北) 2人程度

③農業 2人程度

④土木 ⑤農業土木 ⑥社会福祉A

⑦社会福祉B ⑧薬剤師 ⑨臨床

検査技師 各1人程度

※勤務場所は有田以北で、⑥～

⑨は勤務場所が決まっている場

合あり(県ホームページにも掲載)

対 昭和21年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方

※⑥～⑨は必要な資格免許取得者

願書配布 県人事委員会事務局、県パスポートセンター、各振興局県民行政部総務課、海草振興局建設部海南工事事務所、東牟婁振興局串本建設部総務管理課

申 1月10～21日に県人事委員会事務局(郵送可)

問 申込先 ☎073(441)3763

県立高等学校定時制・通信制課程入学

募集校・学科

【定時制課程】 紀の川＝単位制普通科(昼間・夜間)、粉河＝普通科(夜間)、青陵＝単位制普通科(昼間・夜間)・情報会計科(夜間)、

和歌山第二工業＝機械科、電気科、建築科(すべて夜間)、海南＝普通科(夜間)、耐久＝普通科(夜間)、日高＝普通科(夜間)、

南紀＝単位制普通科(夜間)、南紀周参見分校＝普通科(夜間)、新宮＝普通科(夜間) ※単位制による課程には転編入の枠あり

【通信制課程】 紀の川＝普通科、陵雲＝普通科

※一部の科目だけでも履修可

出願受付【推薦】 紀の川、青陵、和歌山第二工業＝2月6・7日(いずれも2月14日に面接・作文等)

【一般】定時制＝2月26・27日(3月12日に学力検査)

通信制＝3月3～31日(学力検査なし、面接等を行う場合あり) ※成人特別措置、奨学金貸与、

授業料減免等の制度あり

問 各学校、県教育委員会学校教育課

県立高等技術専門校入校

時 2月4日(火)

場 各高等技術専門校

対 中学・高校卒業(見込)者、又は同等の学力を有すると認められる方で、30歳以下の方(ただし、新宮校は年齢制限なし)

校別科目・募集人数

●和歌山高等技術専門校

☎073(477)1253

中卒＝デザイン木工科6人

高卒＝理容科4人、建築工学科8人

●田辺高等技術専門校

☎0739(22)2259

中卒＝塑性工芸科20人

高卒＝OA経理科4人

●新宮高等技術専門校

☎0735(31)7329

中卒＝建築科17人

高卒＝溶接技術科7人

願書配布 各高等技術専門校、最寄りのハローワーク

申 1月17～28日に、14年度卒業見込者は学校を経由して各希望校、その他の方は最寄りのハローワーク

問 各願書提出先

測量士・測量士補

時 5月18日(日)

場 東大阪市ほか全国14都市

願書配布 1月15日から県庁用地対策室、各振興局建設部

申 2月3～28日に国土地理院

問 願書配布場所

平成14年度和歌山県文化表彰

文化の向上発展に顕著な功績のある次の方々を表彰しました(敬称略)

文化賞



梅田恵以子(うめだ えいこ)

随筆家

昭和6年4月11生まれ

大阪市出身

和歌山市在住

昭和49年の「紀のみちすがら」から平成14年の「紀州を語りつぐ 味な味 その風土と人と」まで、和歌山の人、自然、風土等を題材とした随筆集を多数出版し、ふるさと和歌山を全国に発信し続けている。

文化功労賞



西林昭一(にしばやししゅういち)

書道史家、金石学者

昭和7年1月2生まれ

和歌山市出身

東京都練馬区在住



イーデス ハンソン

タレント、社会活動家

昭和14年8月28日生まれ

インド出身(米国籍)

中辺路町在住

文化奨励賞



田中 稔(たなか みのる)

漫画家、イラストレーター

昭和27年11月3生まれ

桃山町出身

千葉市在住



木下伸市(きのしたしんいち)

津軽三味線奏者

昭和40年7月17生まれ

和歌山市出身

埼玉県鳩ヶ谷市在住



楠本弘児(くすもと こうじ)

写真家

昭和22年11月21生まれ

新宮市出身

新宮市在住



南村 透(みなみむらとおる)

版画家

昭和31年11月5生まれ

有田市出身

海南市在住

問 県庁文化国際課 ☎073(441)2052



木村知事はまず、東京家政大学教授の樋口恵子さんと対談しました。

「和歌山の女性は元気がいいですね」と樋口さん。それを受けて

「農産物を自分たちで加工・販売して成功している人やNPO活動を引っぱっている人など、素晴らしいパワーを持った女性がたくさんおられます。地域の発展のためにも、



11月10日

和歌山ビッグ愛

で開催された「ふれあい人権フェスタ」2日目のこの日、

そうした女性を応援するような施策を進めたい」と木村知事。知事はほかにも、地方分権や高齢者施策についてなど、会場を埋めつくした聴衆の前に大いに語りました。



そのあと、県内各種団体の出展ブースや部落解放運動の歴史など人権に関するパネル等を時間をかけて見学し、出展者の熱心な説明に耳を傾けたり、来場者に気さくに話しかけたりしながら充実したひとときを過ごしました。

催し

紀伊風土記の丘 ☎073(471)6123

■子ども歴史クラブ 1月11日(土) 13:00
昔の農具を使った稲の脱穀体験等(対象は小学生)

県植物公園緑花センター ☎0736(62)4029

■やさしいバラの育て方※ 1月19日(日)
■ボタニカルアート(植物の精密画)※ 2月2日・9日(日)
■早春の盆栽展 2月7日(金)～9日(日)
■早春の洋ラン展 2月7日(金)～9日(日)

※は事前申込必要

和歌山県公館 一般開放

日 時 1月12日(日)・26日(日) 10:00～16:00

交 通 バス停「曙橋」下車 ※駐車場はありません

問合せ 県庁管財課☎073(441)2214



湯浅警察署新庁舎が完成

わがやま..
北南NEWS

高野参詣大橋開通(11月30日高野口町・九度山町)

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073(441)2359

【常設相談】月～金曜日(東牟婁振興局☎0735(22)8551水曜日を除く) 場所/県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 1月20日(月)、2月3日(月) 受付/13:00～14:00 ●東牟婁振興局

1月17日(金)、2月7日(金) 受付/正午まで(電話予約必要)

【巡回相談】●伊都振興局 1月22日(水) ●西牟婁振興局

2月12日(水) 受付/11:00～15:00

県民相談 ☎073(441)2356

【常設相談】月～金曜日 場所/県庁県民相談室

【弁護士による相談】県庁県民相談室 ※各先着16人

●1月24日(金)〈☎予約1/15～〉 ●2月4日(火)〈☎予約1/27～〉 ●2月14日(金)〈☎予約2/5～〉

【移動相談】●2月6日(木) 粉河町役場〈☎予約1/23～那賀振興局0736(61)0005〉

●2月18日(火) 古座町・町民文化センター〈☎予約2/4～東牟婁振興局0735(21)9605〉

※各先着10人(予約開始日に注意)

高齢者相談 ☎073(435)5212

【常設相談】月～金曜日

【専門相談】医療、リハビリ、保険・年金、税金、栄養、住宅、法律、健康 ※日時はお問い合わせください

【弁護士による相談】1月17日(金)(電話予約必要)

場所/県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

初めての津波避難訓練を実施

今後30年の間に40%程度の確率で発生が予想されている南海地震。このような大地震の際の津波災害に備えるため、11月13日、県内沿岸部の21市町で初の津波避難訓練が行われ、延べ16,000人が参加しました。

午前10時頃、和歌山・三重の両県で大きな揺れがあり、10時3分、気象庁から両県沿岸地域に大津波警報が出されたとの想定で訓練を開始。一刻を争うことから、県と市町村の防災行政無線を使って、警報の内容が直接住民に伝達されました。その通報を受けて各地では、高台など安全な場所への避難をはじめ、河川・海岸の水門閉鎖や土のうの積み上げなどの訓練が行われました。



沿岸部21市町

ますます関空が近くなる。整備が進む府県道泉佐野岩出線



府県間道路として、また関西国際空港へのアクセス道路として重要な役割を担う府県道泉佐野岩出線の整備が着々と進んでいます。

昨年9月、岩出町内の根来バイパスと森バイパスを含む根来～備前間3.4kmで全線4車線化が完了し、さらに府県境までの区間についても、早期に供用できるよう工事が進められています。また昨年11月には、平成6年から工事が進められていた大阪府泉南市の金熊寺バイパス1.3km(暫定2車線)が供用開始されるなど、和歌山から大阪泉南地域へのアクセスがますます便利になってきています。



青少年の家

こおどフェスタin紀北

巨大千人鍋のふるまい、マグロの解体・即売、地域物産販売、もちつき・ピザづくり・クラフト等体験、地元和太鼓グループ等のステージ発表など

日程 2月9日(日)
10:00～15:00(雨天決行)

会場 紀北青少年の家
※気軽にご来場ください

ドドンといこう和太鼓

日程 2月8～9日(1泊2日)
会場 紀北青少年の家
対象 小学5年生～一般 25人 抽
費用 2,400～3,000円
申込 電話、FAX、ハガキで1月24日までに会場

ハガキ・FAXで申し込む場合

参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名を記入してください。

仲間と卒業旅行

自分たちで選んだポイントを通して青少年の家をめざす

日程 3月8～9日(1泊2日)
会場 紀北青少年の家
対象 小学6年生2～5名程度のグループ 15組 抽
費用 1人 3,800円(交通費別)
申込 電話、FAX、ハガキで2月14日までに会場(氏名等全員記載)

君も“ヒカルの碁”になろう!

囲碁に親しむ(初心者対象)
日程 2月8～9日(1泊2日)
会場 白崎青少年の家
対象 小学3年～中学生 40人 抽
費用 2,900円
申込 電話、FAX、ハガキで1月29日までに会場

申込・問合せ

紀北青少年の家	白崎青少年の家	潮岬青少年の家
〒649-7112 かつらぎ町	〒649-1123 由良町	〒649-3502 串本町
中飯降1317-3	大引961-1	潮岬669
☎0736(22)5530	☎0738(65)2351	☎0735(62)6045
FAX0736(22)5531	FAX0738(65)2352	FAX0735(62)0182

ふしぎ実験 浮き絵アート

アルミ板を溶かして浮き絵制作
日程 2月15～16日(1泊2日)
会場 潮岬青少年の家
対象 小学5年～中学生 30人 抽
費用 3,000円
申込 電話、FAX、ハガキで2月1日までに会場

トライアルツアー 12歳の地図

自分たちで決めた課題を実行しつつ青少年の家をめざす
日程 3月8～9日(1泊2日)
会場 潮岬青少年の家
対象 小学6年生3～5名のグループ 10組 抽
費用 1人 2,800円(交通費別)
申込 電話、FAX、ハガキで2月9日までに会場(氏名等全員記載)

自然博物館

談話会 熊野の自然と歴史

作家の宇江敏勝氏を招き、熊野の草花や歴史について語り合う
日程 2月11日(祝) 13:00～16:00
会場 自然博物館
対象 中学生～一般 60人 抽
費用 入館料

申込 往復ハガキに全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、1月28日までに会場「談話会」係

魚にエサをやるう5

日程 2月22日(土) 14:00～16:30
会場 自然博物館
対象 小学生～一般 30人 抽
費用 入館料+103円(保険料)
申込 往復ハガキ又はEメールに全員

の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、2月8日までに会場「魚にエサをやるう」係
Eメール esa@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp

申込・問合せ

県立自然博物館
〒642-0001 海南市船尾370-1
☎073(483)1777

高野・熊野がいよいよ世界遺産推薦へ!

国の文化審議会文化財分科会が12月6日に開催され、高野、熊野、吉野・大峯とその参詣道からなる「紀伊山地の霊場と参詣道」を世界遺産に推薦することが了承されました。

これを受け、政府としての推薦決定後、2月1日までに文化庁と環境省からユネスコへ推薦書が提出される見込みとなりました。

平成16年6月頃に開催される世界遺産委員会において、世界遺産一覧表への記載の可否が決定されます。

問合せ 県教育委員会 世界遺産登録推進室

木村知事と女優の萬田久子さんが新春対談!

お母様が熊野地方のご出身という萬田さんは、めはり寿司が大好きで、紀州備長炭の愛好家でもいらっしゃいます。あでやかな着物姿の萬田さんと木村知事が、新春にふさわしい夢一杯のトークを繰り広げます。



テレビ(テレビ和歌山)
1月1日(祝) 12:00～12:30
1月5日(日) 22:00～22:30(再放送)
ラジオ(和歌山放送)
1月1日(祝) 9:15～9:35